

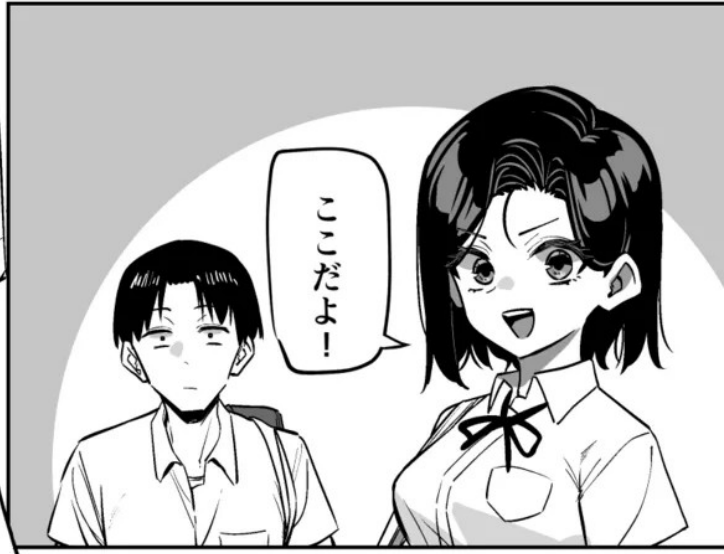
まさか
いつもの場所が使えないとはね。

まあ、
そんなこともあるさ。

立ち入り禁止

それで、

今どこに
向かってんの？



ここだよ！



屋上前の
踊り場？

こんな場所
誰も来ないからね。

…まじ？



私は、大変なことに
気づいてしまった。

ところで、

凧人。



失礼な奴だな。
キミは。

ま、ま、ま。



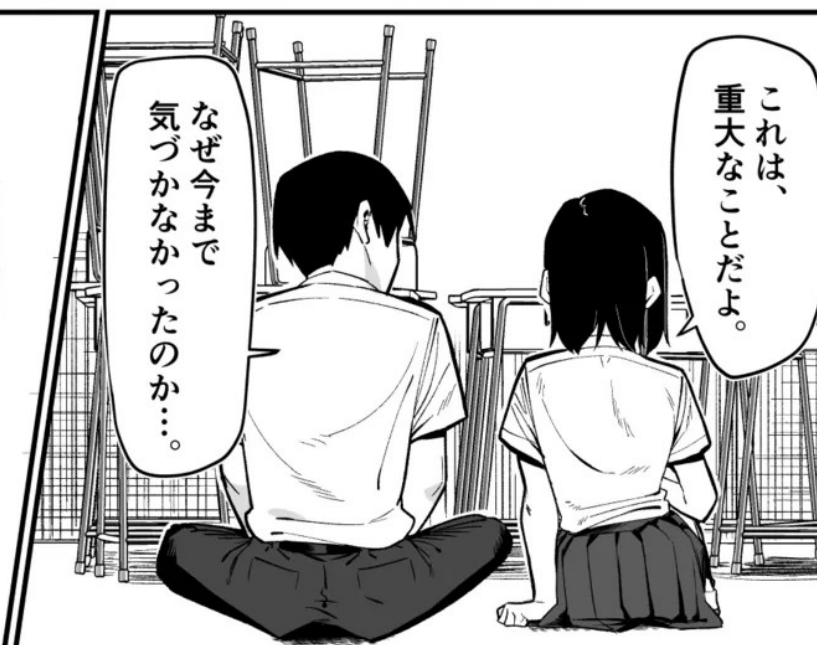
なんだい？
その顔は。

いや、ロクなことじゃ
なさそうだなって…。



な、なんだよ。

ひん。



これは、
重大なことだよ。

なぜ今まで
気づかなかったのか…。

キミは私のおっぱいを
見たことがあるのに、

私はキミのおっぱいを
見たことが無い!!

は？

何言ってるの？

俺のおっぱい……？

不公平じゃないか。

いや、男の胸見ても
しょうがないだろ。

やめろそれ。

女だって
男のおっぱいは見たい!!

…それ、
茜だけじゃないの？

そんなことはない!!



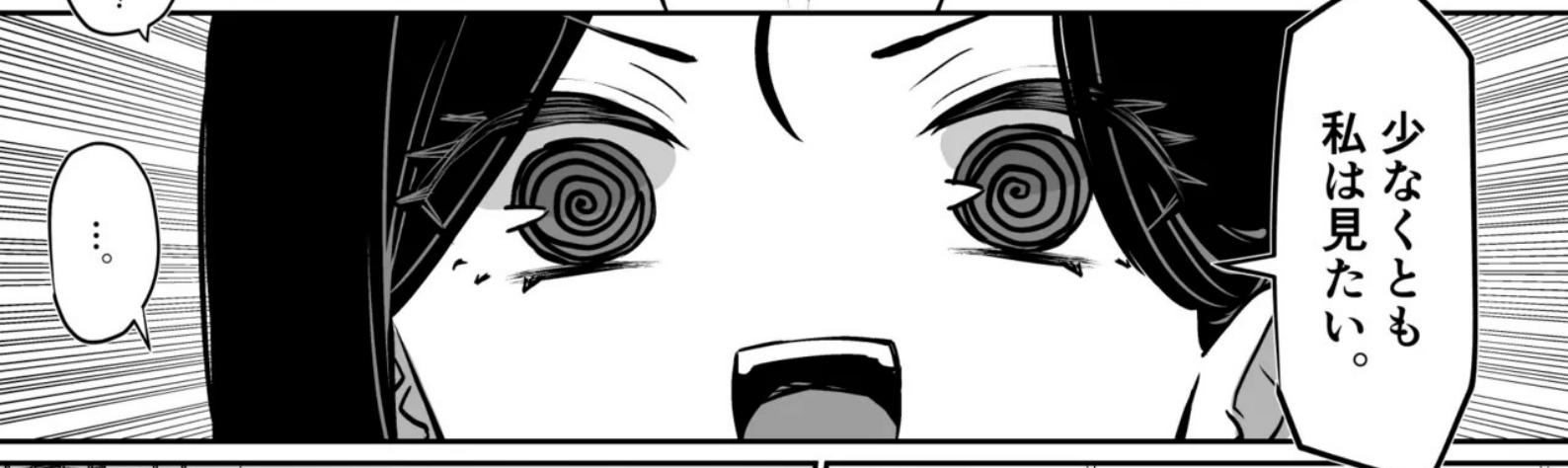
女子はみんな
お〇んちんが見たいし、

女も男のハダカを
妄想するものなんだよ。

男がいつも女のハダカを
妄想してるように、

雄っぱいだって
見たい。

主語でかかない？



少なくとも
私は見たい。

...



ということでは
見せたまえ。

ま、まあ、

いいけど別に...



今まで意識して
いなかったが故に

それが恥ずかしいことだと
考えたこともなかったのだろうか？

私はね、風人。

興奮は、

少しの意識の違いで
生まれ得るものだと
思ってるんだ。

頭の中で。

だから、
ちゃんと「言葉」にしてほしい。

今からキミは、
「人に見せるために
服を脱ぐ。」

「私」に見せるために、

脱ぐんだよ？

ズツ

ズツ



おお…!!



随分えっちな身体を
しているね風人。

はあ
怖いんだけど
この人。
しゅ

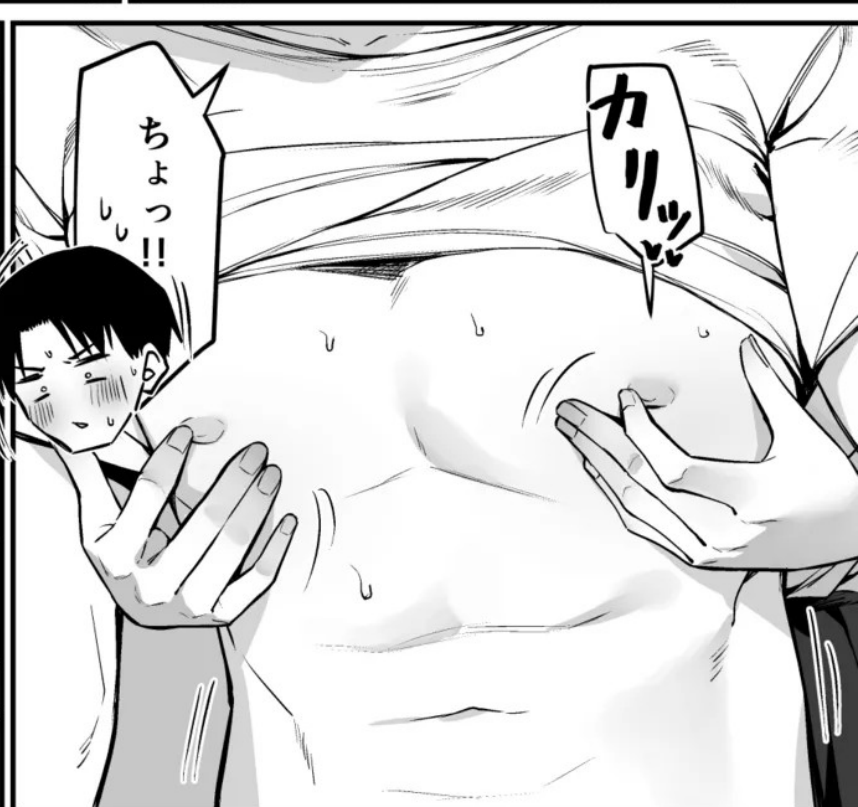


鍛えられているわけでもなく、

無駄に贅肉があるわけでもない

すごくリアルな肉体だね。







ふふふっ。

ふん、

女の子みたいで
かわいいよ。

乳首
かりかりされて
ピクピク動いちゃって

凧人。

ふん、

かり

かり

かり



お、俺だけ
こんな触られるの



びっ



そうかもしれないね。

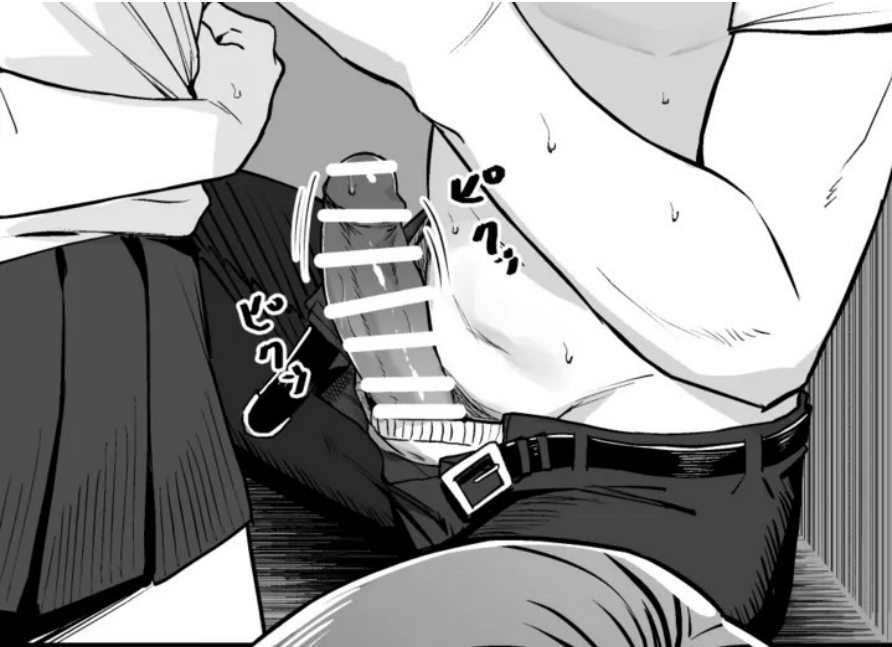
確かに。

...



不公平じゃないか？





この間も
少し触ったけど、

指に力を入れると

その通りに形が変わる。

おっばいに夢中だね。

ふふっ

あ、
やばっ…!!

やっぱり、
柔らかい…!!

指が沈む。

ふにゃ

ふにゃ

ふに

ふにゃ

ふにゃ

うん

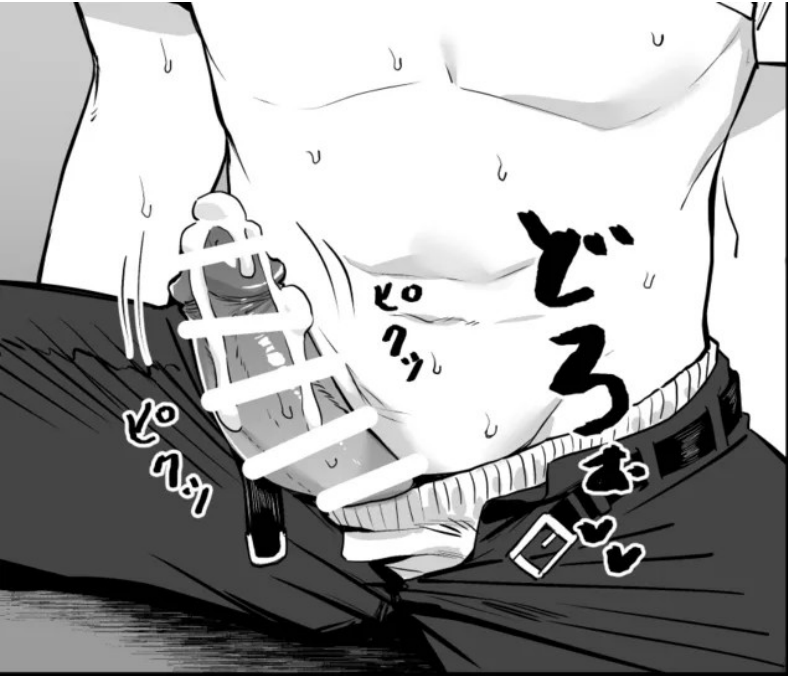
ふにゃうん

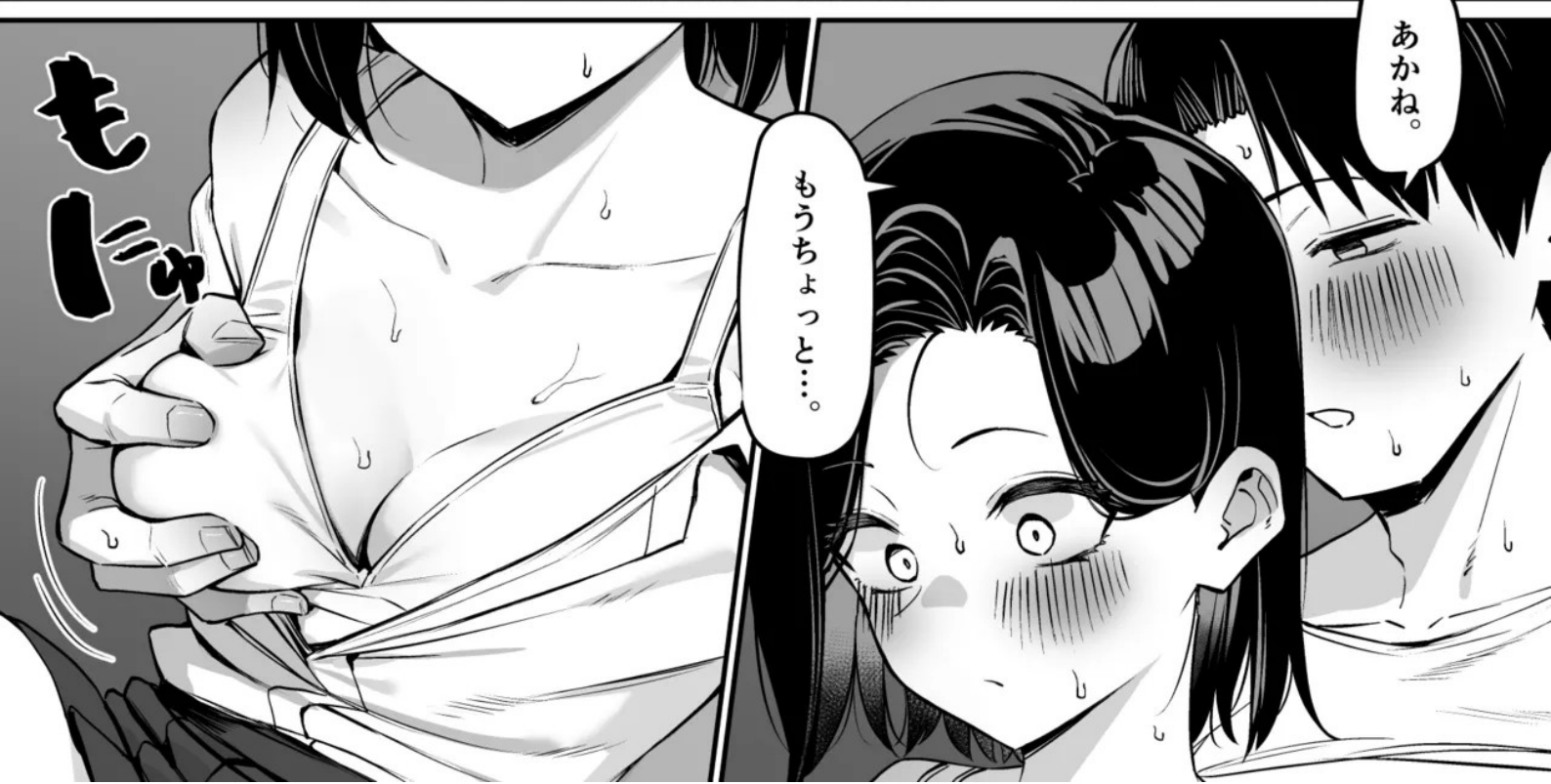
ふん

はあ
は、

は、

ぐん



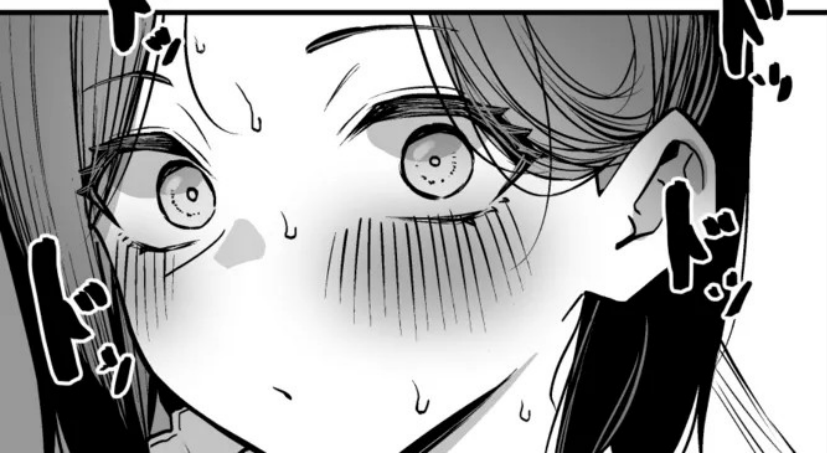
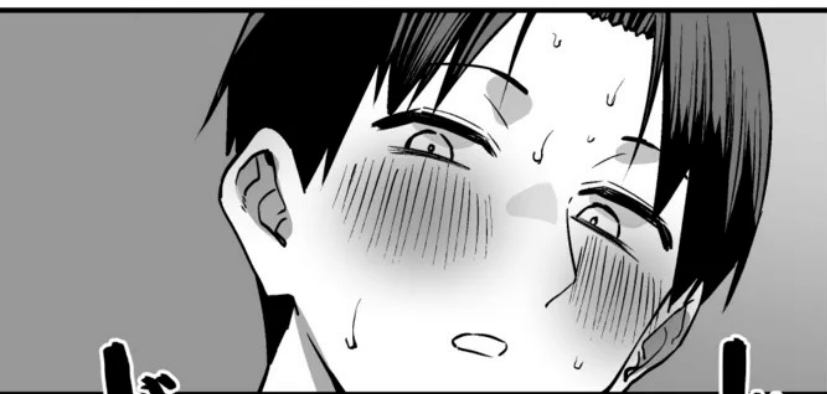
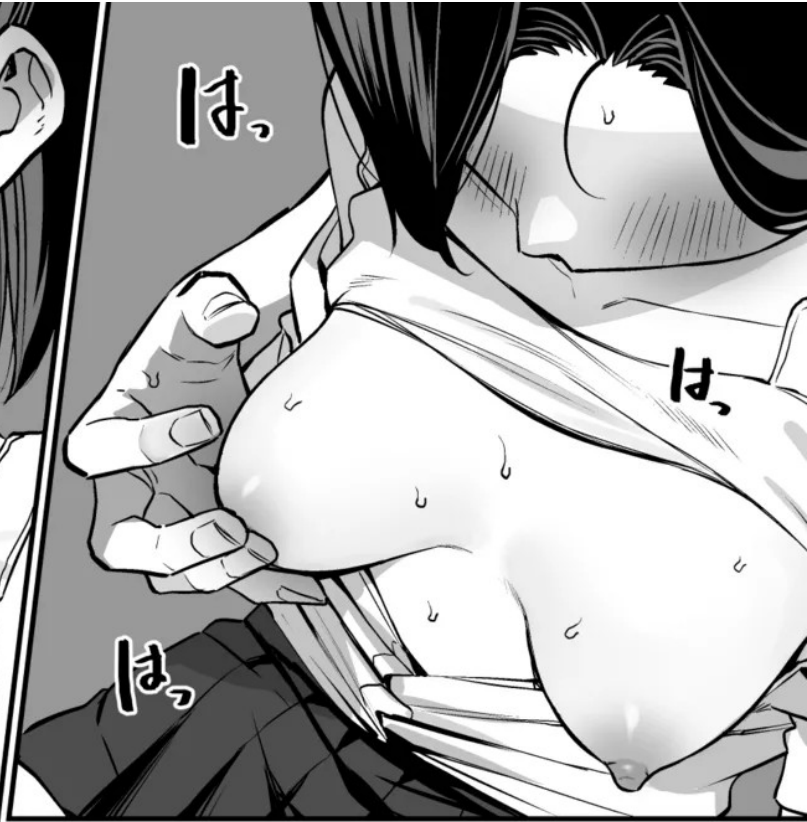




出した後に、またすぐ
出せるものなのかい？

わ、
私はお○んちんが生えていないから
あまり分からないけれど、

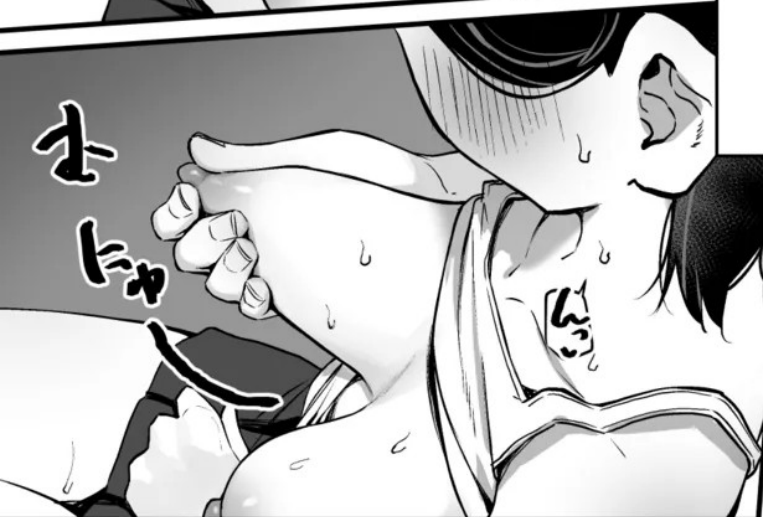
あ…。





ふにゃ
ふにゃ

柔らかい「肉」



ふにゃ
ふにゃ



女子の「におい」

は、
は、

は、
は、
は、
は、



キミは本当に「下」が好きだね。



下も…

あかね。



でも、今日はだめだよ。



そりゃあ、
そうだろう。

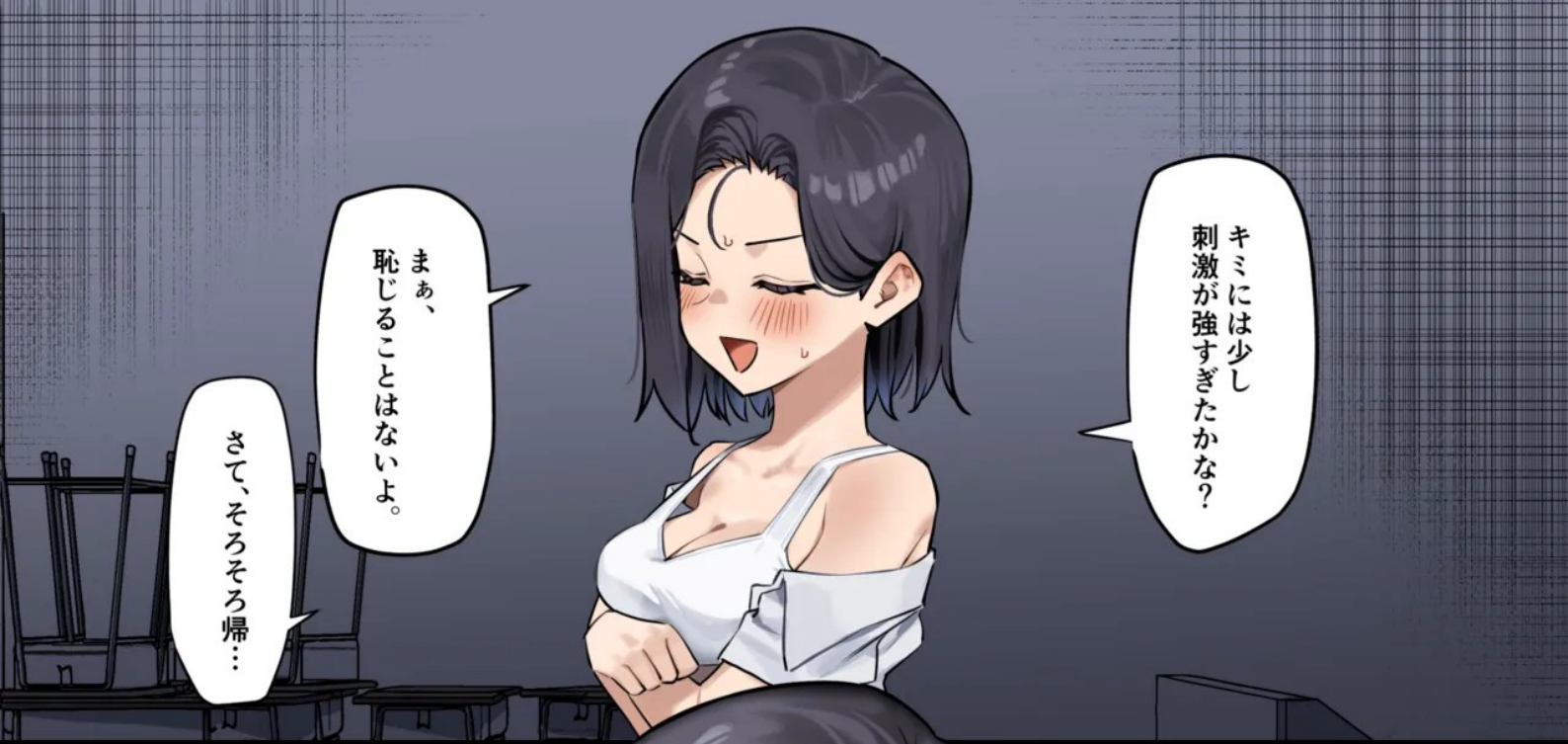
もう
なんも出ないわ。



んー。

ちよつと休憩。





さて、そろそろ帰…

まあ、
恥じることはないよ。

キミには少し
刺激が強すぎたかな？



クラスの優等生の
身体でオニーする話

ドッ
はっ
もじっ
もじっ
ドッ

はっ
ドッ
ドッ
はっ
ドッ